

タウンミーティング 聴きたい、話したい まちのこと

日 時 平成28年9月25日（日）午前10時～11時30分

場 所 旭分館（苗間旭町会）

参加者 17人



主な意見等

参加者 新しくできる清掃センターの分別や収集方法は今まで通りでよろしいでしょうか。

市 長 はい、今まで通りです。また、これまでは昼休みなどはごみを持ち込めませんでしたが、持ち込みが可能な時間が増えます。土曜日の午前中も家庭ごみの受け入れができます。

参加者 中沢公園の近くに、もりのさんぽみちがあります。歩くところが狭く、夜に自転車で若い人がすごい勢いで通ります。危ないので自転車の通行を禁止したらいいのではないかと思います。

市 長 現在も自転車を降りてくださいという看板はありますが、もう少し啓発に力を入れていきたいと思っています。

参加者 川口信用金庫の隣にガソリンスタンドがあります。その歩道の木が根が膨らんでいて自転車で通った時に危険を感じました。何か対策をしてほしいと思います。

市 長 どうしても、根が張ってきて歩道を持ち上げたりします。担当に

現地を確認させたいと思います。

参加者 この隣の空いている建物は今後どのように使う予定でしょうか。

市 長 もともと商工会が使っていた建物ですが、合併後事務所を一本化したため空いています。そして、市に寄付してもらいました。用途は未定ですが、有効活用していきたいと思っています。地域の方の利便性も高まればいいと思います。商工会でもこの建物について寄付はしたが申告の時には使いたいという意見がありますので、そういったことも可能にできる活用方法を今後考えていきたいと思います。

参加者 昨年のタウンミーティングでも申し上げましたが、苗間西公園は、防災拠点になっています。しかし、トイレがないので不便です。

市 長 昨年は計画的に整備していくとお答えいたしました。トイレは密室になってしまうということで犯罪被害にあってしまう可能性もあります。このような管理の問題もありそれぞれのトイレの間隔などさまざまなことを考慮し設置を行っております。そのため、今のところは設置の予定がありません。

 災害時については仮設トイレの使用などを考えて、防災計画を進めていきたいと思います。

参加者 ムクドリについての意見です。枝を切るという場当たりの対応ではだめだと思います。ムクドリたちが移動するだけです。市町村で話し合って抜本的な対策を考えてほしいと思います。

市 長 ご指摘のように一か所だけいなくなればいいという問題ではないです。貴重なご意見なので考えてみたいと思います。

参加者 私道の件で前回意見を出し、市の職員にもご尽力いただき動いてみましたが、各家庭のローンの関係で抵当権が私道部分にもかかっ

ており、公道にできませんでした。そのため、私道に対して防犯灯を付けられるような仕組みがあればありがたいと思います。

市長 現在の基準では私道の場合は行政の負担ではなくなってしまう。私道への防犯灯設置に関して、費用負担を見直したいという思いはあります。

参加者 大井総合支所にある児童センターで孫を連れて卓球をやろうと思ったら、2時間半待ちと言われました。他の遊具は結構空いていました。卓球台はそれほど高価なものではないと思います。人気がある遊具を増やすなど、きちんとマーケットリサーチして適切な配分をしてほしいと思います。

市長 なんとか工夫できないか検討したいと思います。

参加者 新しく引っ越してきた人が、転入届を出しに市役所へ来るときに町会への加入を進めてもらっていると思います。しかし、転入した人は連絡先が分からないので、そのまま加入せずに終わってしまうと思います。そのため手続き時に町会の会長さんの連絡先を教えてくださいたいと思います。今、この町会の加入率は50%弱です。これでは、いずれ町会が成り立たなくなってしまうと思います。

市長 ここ数年来、町会の組織率の低下というのは非常に大きな問題としてあります。転入された方への対応といたしまして、以前は、「自治組織への加入は任意です」と説明しておりましたが、今は「ぜひお入りください」というように勧めています。現在、窓口で会長さんの連絡先を教えているかどうかについては確認をとって、もしお伝えしていない場合は、各自治組織に許可をいただいた上で、今後はお伝えするように進めていければと思います。

あるいは、転入者の方本人の同意をいただいて、連絡先を教えてください、それを市役所経由で自治組織の役員の方に伝えるのも一つの手段だと思います。

参加者 災害時の助け合いなど町会のメリットを知らない人が多いです。それをもっと PR していく必要があると思います。

市長 万が一の時のことを考えると、「遠くの親戚より近くの他人」というくらい地域のつながりは大事だと思います。貴重なお話だと思いますので、皆さんに自治組織に参加していただけるよう再度力を入れたいと思います。

参加者 苗間旭町会のエリアの中に 2 つの小さな自治会があります。そのため、会費の負担が二重になってしまうため、町会に入らないという状況が起こってしまっています。

市長 市から補助金も入りますし、町会組織を利用した方がそれぞれの自治会にもメリットがあると思います。行政も協力しますので、ぜひ、それぞれの会で話し合っ解決していただければと思います。

参加者 市役所の手続きの件について、今までは大井総合支所で間に合ったものが、本庁に行かないとできないものが増えてきています。そのあたりを考えてほしいと思います。

市長 お困りになった事例があれば教えていただけないでしょうか。

参加者 緊急時の届けを出すときです。本庁の方へ行ってくださいと言われました。

市長 今のお話からは具体的な事例は分かりかねますが、ほとんどのことが大井総合支所でできます。合併直後はできないことがかなりありましたが、見直しを行いました。支所から本庁へどうしても行かなければならない方のために、タクシーチケットを用意しましたが、利用はほとんどありませんでした。

参加者 私は、高齢で一人暮らしなので、緊急通報システムの利用を希望したら、できないと言われました。

市 長 病気をお持ちの方など、緊急通報システムの利用にあたっては一定の基準がございます。自分で 119 番をできる方は対象外となっています。

参加者 もし、倒れてしまったら自分で 119 番できないので、その点を考慮してほしいと思います。

市 長 緊急通報システムには利用者が間違っって押してしまう可能性があり、その場合にも救急車の出動が必要となってしまいます。出動する救急車の台数も限られているため、一人暮らし世帯全員に配るのは難しいです。いざという時のために、お弁当の宅配業者など様々な事業者などで見守りのシステムを構築し対応を図っています。